

## 三菱自動車、オーストラリア、ニュージーランド向け新型バッテリーEV 『ASX VR-e』を年内に発売

三菱自動車工業株式会社（以下三菱自動車）は、オーストラリアおよびニュージーランドにおいて、鴻海精密工業股份有限公司（Foxconn）グループ傘下の鴻華先進科技股份有限公司（Foxtron）から、OEM 供給を受けるバッテリーEV（以下、BEV）の『ASX VR-e』を 2026 年内に発売します。



新型『ASX VR-e』

新型『ASX VR-e』は、オーストラリアおよびニュージーランドの Small SUV セグメントにおいて、都市部を中心とした BEV 需要の拡大を背景に投入するモデルです。優れた環境性能に加え、先進技術や走行性能、デザイン性を重視するお客様に向けた新たな選択肢として位置付けています。

車名の『ASX』は、オーストラリアおよびニュージーランド市場で長年親しまれてきたコンパクト SUV 『ASX - Active Sports Crossover(X)』の名称を継承したものです。また、『VR-e』は、三菱自動車を代表する高性能スポーツセダン『ギャラン VR-4』に由来しており、本モデルが備えるスポーティな走りや電動化技術、先進性を象徴する名称として採用しました。三菱自動車のエンジニアが現地の走行テストを重ね、専用のサスペンションチューニングを実施。高い路面追従性により、ドライバーの意思に忠実なハンドリングを実現しました。「VR」の名にふさわしい、スポーティな走りを楽しめます。

エクステリアには、優れた空力性能を追求したデザインを採用しています。フロントバンパー中央からボンネット上面へ空気を導く特徴的なトンネル形状の「S ダクト」や、走行状況に応じて空気抵抗を低減する「アクティブグリルシャッター」を装備しました。フロントおよびリヤのランプ類、さらにリヤピラーには水平基調のストライプパターンを採用し、C ピラーや専用デザインのホイールにも同様のモチーフを展開することで、統一感のある先進的なデザインを表現しています。

三菱自動車は、新中長期ビジョンのもと、オフロード商品群およびアセアン商品群を中核とした商品ラインアップの強化を進めています。電動化については、EV ではアライアンスパートナーとの協業を活用しながら、独自技術による HEV および PHEV の開発に注力し、環境性能と三菱自動車ならではの走行性能の両立を追求しています。今後も三菱自動車は、アライアンスをはじめとするさまざまなパートナーとの協業を通じて商品ラインアップの充実を図るとともに、電動化への取り組みをさらに加速していきます。

### 三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約 28,000 名の従業員が働いています。プラグインハイブリッド EV の『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>

以上